

科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）実施状況報告書（研究実施状況報告書）（平成28年度）

1. 機 関 番 号

3

2

6

0

4

2. 研究機関名

大妻女子大学

3. 研究種目名

基盤研究(C)（一般）

4. 補助事業期間

平成26年度～平成29年度

5. 課 題 番 号

2

6

3

8

0

6

9

6

6. 研究課題名

「表現の自由」とヘイト・スピーチ法規制をめぐる社会学的研究

7. 研究代表者

研 究 者 番 号	研 究 代 表 者 名	所 属 部 局 名	職 名
1 0 2 0 7 3 2 6	チョン ヨンヘ 鄭 暎惠	人間関係学部	教授

8. 研究分担者

研 究 者 番 号	研 究 分 担 者 名	所属研究機関名・部局名	職 名
1 0 5 5 1 7 8 1	カク キカン 郭 基煥	東北学院大学・経済学部	教授
3 0 5 4 6 6 2 7	イ ソンヒ 李 善姫	東北大学・東北アジア研究センター	専門研究員
8 0 6 4 8 7 1 7	モロオカ ヤスコ 師岡 康子	大阪経済法科大学・アジア太平洋研究センター	研究員

9. 研究実績の概要

ヘイトスピーチがサイレントマジョリティに及ぼす社会的影響に関する量的調査「表現の自由とヘイト・スピーチ法規制に関する意識調査」の結果、格差が拡大するグローバル社会での生存競争が激化する中、既得権が脅かされると感じて排他的になる割合が、若年層ほど大きいことがわかった。これは従来のナショナリズム・排外主義が、保守的な高齢層ほど強いのは異なる現象である。 2012年以降のヘイトスピーチは、USAやEUで台頭する排外主義と通底するものがあると言える。日本社会の状況・文脈固有の要因と同時に、グローバル社会に共通する要因を見る必要がある。 ヘイトスピーチは「殺せと言っているだけで、誰も殺してはいない」と言われるが、ターゲットとされた被害当事者にとっては、人間としての尊厳を奪われる「アイデンティティの殺人」に相当する。「魂の殺人」と言われる虐待・性暴力などと同様、被害が他者からは「わかりにくい」が、心身ともに「原因不明」の多様な症状を伴い、健康面へのダメージは大きいと推測される。 ヘイトスピーチの被害当事者への質的調査（インタビュー）を行うのと並行して、精神科医・保健師を交えて、ターゲットとされた人々に与える健康面での影響について、学習会を開催した。ターゲットにされた人々は、ヘイトスピーチによりその表現を否定されて「表現の自由」が奪われつつあり、過度の緊張・不安・恐怖が与えられることで、人間関係・社会生活において看過できない悪影響がある。
--

10. キーワード

(1)ヘイト・スピーチ	(2)表現の自由	(3)外国人	(4)多文化主義
(5)法制化	(6)サイレントマジョリティ	(7)健康	(8)

11. 現在までの進捗状況

(区分) (3) やや遅れている

(理由)

2014年度に計画していた量的調査について、予定外の衆議院解散・選挙と2015年春の地方総選挙の狭間で、選挙人名簿によるランダムサンプリングが計画通りに行えなかったこと、さらに、研究代表の体調不良により、計画より半年余り進行が遅れている。

12. 今後の研究の推進方策 等

(今後の推進方策)

「ヘイトスピーチでターゲットとされた人々に与える影響」について、当事者に質的調査（インタビュー）を行う。

並行して、精神科医・保健師などの専門家の協力を得ながら、2017年度に2回ほど「ヘイトスピーチがもたらす健康被害」について研究会を行う。

これまでの量的調査、質的調査をふまえ、これら研究成果をまとめて報告書の作成を行う。

(次年度使用額が生じた理由と使用計画)

(理由)

2014年度に予定していた量的調査の進行が計画より半年余り遅れた上に、研究代表の体調不良により、その結果分析、質的調査、ヘイトスピーチ被害者への健康面での影響について医療従事者を交えて行う研究会も、同様に半年強遅れて進行しているため。

(使用計画)

① 2017年度に、ヘイトスピーチ被害者への健康面での影響について、医療従事者にも参加を依頼し、2回ほど研究会を行う。

② これまでの量的・質的調査の結果と合わせて報告書を作成する。

(課題番号： 26380696)

(注) ・印刷に当たっては、A4判（縦長）・両面印刷すること。

(2 / 6)

13. 研究発表（平成28年度の研究成果）

〔雑誌論文〕 計（5）件／うち査読付論文 計（0）件／うち国際共著 計（0）件／うちオープンアクセス 計（0）件

著 者 名	論 文 標 題				
鄭暎恵	グローバル資本主義とヘイトスピーチ その心的外傷と回復				
雑 誌 名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著
公益財団法人基督教イースト・エイジャ・ミッション富坂キリスト教センター紀要	無	第6号	2017	印刷中	—
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）					
なし					
オープンアクセス					
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難					

著 者 名	論 文 標 題				
佐竹眞明・李原翔・李善姫・金愛慶・近藤敦・賽漢卓娜・津田友理香	「多文化家族に対する支援 ―愛知・大阪・神奈川の事例から―」				
雑 誌 名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著
名古屋学院大学論集社会科学篇	無	Vol.53（3）	2017	105-137	—
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）					
なし					
オープンアクセス					
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難					

著 者 名	論 文 標 題				
李善姫	「第6章 東北の日韓国際結婚家庭と多文化の子どもたち——母語継承、アイデンティティ、文化間移動をめぐって——」				
雑 誌 名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著
『多文化家族の支援に向けて―国際結婚と多文化共生（研究課題番号：JSPS26285123）』．2014～2016年度科学研究助成事業（基盤研究B）報告書	無	—	2017	93-105	—
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）					
なし					
オープンアクセス					
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難					

（課題番号：26380696）

（注）・印刷に当たっては、A4判（縦長）・両面印刷すること。

（3／6）

著 者 名		論 文 標 題				
上瀧浩子・堀田義太郎・鄭映恵・秋林こずえ		2014年度シンポジウム報告〈表現・暴力・ジェンダー〉				
雑 誌 名		査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著
「女性・戦争・人権」学会学会誌『女性・戦争・人権』		無	第14号	2016	39-74	—
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）						
なし						
オープンアクセス						
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難						

著 者 名		論 文 標 題				
鄭暎恵		意見書——李信恵裁判に関わって				
雑 誌 名		査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著
『抗路』		無	第3号	2016	37-50	—
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）						
なし						
オープンアクセス						
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難						

【学会発表】 計（3）件／うち招待講演 計（0）件／うち国際学会 計（0）件

発 表 者 名	発 表 標 題	
李善姫	「移住女性の目線から問う『東北の多文化共生』」	
学 会 等 名	発表年月日	発 表 場 所
東北大学大学院文学研究科東北文化研究室公開シンポジウム『東北の多文化社会を生きる一現場と研究の架橋をむけて』	2016年12月17日	東北大学（仙台市）

発 表 者 名	発 表 標 題	
郭基煥	「根源的な自己憎悪の反復としてのヘイトスピーチ」	
学 会 等 名	発表年月日	発 表 場 所
現象学社会科学会第32回大会シンポジウム【ヘイトスピーチと差別】	2016年12月06日	立正大学

（課題番号： 26380696 ）

（注）・印刷に当たっては、A4判（縦長）・両面印刷すること。

（4／6）

発 表 者 名	発 表 標 題	
李善姫	「同質社会から多様な社会へ——東北に住む外国人親たちの挑戦」	
学 会 等 名	発表年月日	発 表 場 所
公開シンポジウム『世界につながる—国際結婚家族と私たち』	2016年07月16日	名古屋学院大学

〔図書〕 計（１）件

著 者 名	出 版 社		
師岡康子	現代人文社		
書 名	発行年	総ページ数	
「Q&Aヘイトスピーチ解消法」	2016	222	

14. 研究成果による産業財産権の出願・取得状況

〔出願〕 計（０）件

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	出願年月日	国内・外国の別

〔取得〕 計（０）件

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	取得年月日	国内・外国の別
				出願年月日	

15. 科研費を使用して開催した国研究集会

〔国際研究集会〕 計（０）件

国際研究集会名	開催年月日	開催場所

16. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

（１）国際共同研究：－

（課題番号： 26380696 ）

（注）・印刷に当たっては、Ａ４判（縦長）・両面印刷すること。

（５／６）

17. 備考

--